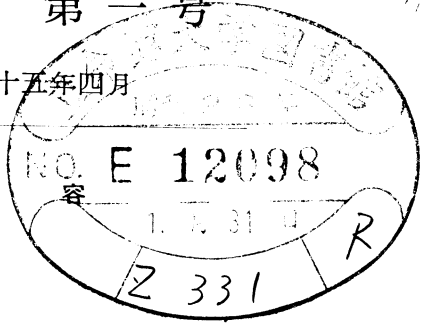


立命館經濟學

第九卷 第一号

昭和三十五年四月



内 容

論 說

- 超過利潤と差額地代……………白杉庄 一郎 1
——向取説の検討——
- 証券の上場について……………住ノ江 佐一郎 41

研 究

- 〈疎外された労働〉の概念(一)……………紺 見 英 60

資 料

- 和歌山県地租改正反対一揆……………愛 藤 甫 109

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第八卷・第四号

論説

大和における国詬

奥田修三

——近世大和の農業構造との関連において——

J・S・ミルの財政論

斎藤博

経営統計の基本問題に

かんする一試論

坂寄俊雄

研究

割賦販売会計における

総利益の算出方法

桑原幹夫

紹介

本多直重氏「日本銀行の

機能と政策」

武藤守一

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第八卷・第五・六号

論説

経済哲学のための一般的序説

梯明秀

「土地報酬」にかんする

松野昭二

基本的考察

——中国農業の集団化・農業生産
協同組合における特徴の解明のために——

第二市場論(一)

住ノ江佐一郎

損益分岐図表に関する一考察

寺島平

——その信頼性と有用性について——

研究

フランソア・ケネーに

おける財政思想

箕浦格良

アメリカにおける割賦販売の営業諸費用

及び貸倒金の会計処理について 桑原幹夫

欧州経済共同体の性格

清水貞俊

——その「超国家的」性格をめぐって——

『資本論』の学問的体系と

『帝國主義論』

本岡昭良

発行所 立命館大学人文科学研究所